



若者国際連合-15

～宇宙時代の平和的話し合い

m o r i 3 5 8 0

中国が月の裏側の探索にえらい熱心だと報道された。月の裏側には誰も行った事は無く、地球には同じ面しか見せていないので、月の裏側に基地ができるのかどうかも、又基地をどう運用したらよいのかもわからなかった。宇宙時代には技術的にどんなに可能であっても、やってはいけないことを国際的にルール化しておいたほうがよい、と思う。

「人間が月に立った」と喜んでいるうちに、その時は将来宇宙から攻撃されることがあるとは考えていなくとも、その後そう言うことを考える人や国が出てくるかもしれない、と思って、話合いの方向に行くべきであった、と思う。天気予報やカーナビのために、宇宙船をこんなに地球の周辺に飛ばせているという現実をどう考えるのか、今から話し合いをして国際ルールができれば良いが・・・。

中には「核弾頭を搭載したミサイルを開発すれば宇宙からの攻撃も可能」という人や国が表れても不思議ではない。現にある国の指導者がそれを考え大国とわたりあっている。近く二度目の会談があると報じられている。

今後予断は許されないが、話し合うこと自体は良い事と歓迎する。大国アメリカの大統領といえども核戦争を仕掛けるわけにはゆかないから、しばらくは国際世論の動向を見定めるしかない。一方の北朝鮮は現体制の維持を求めるしかないから核爆弾を使うこともない、と思う。

話し合いはよいが、核問題の解決を急いではならない。これが国際世論の動きであり、最も現実的な解決策といえよう。

本編では、二度目の会談という米朝首脳会談と我が国の今後の在り方を、例によってQ & A方式で分かりやすく考えてみたい。

第1章 また会うね、例の二人が

Q：また会うね、例の二人が。今度はヴェトナム？

Q：元首相の小泉さんが本をだしたね？

Q：英国のEU離脱の国民投票をしたね？

第2章 会談決裂！核兵器発射か？

Q：帝国主義の謝罪をした国があったかね？

Q：宗教が絡むと・・・？

Q：日本はどうなる？

第3章 宇宙時代にふさわしいルール作りの話し合いを

Q：ルール創りの話し合いを

Q：核兵器の実験はない？

Q：これからどうなる？

第一章 また会うね例の二人が

Q:また会うね？例の二人が・・・？

A:そう報道されているね。場所はヴェトナムだそうだ。ヴェトナムとなると、アメリカが敗北を味わった戦争の中でも、もっとも最近であり、アメリカ国民の記憶に新しい場所ともいえる。初めて敗北を味わった場所で、平和の会談をすることにどんな影響があるのかないのか分からないが、アジアでやるのは歓迎だね。

Q：核兵器による攻撃がなければいいと思っているけど...？

A：国際世論はそうだろうが、あまり結論を急いでもいけないと思うよ。国際世論に沿ってゆこうと交渉者が焦りだすのも困るしねえ。静観がいいとおもうよ。

Q：結局何もしないことになりそうだ...？

A：核兵器がこの地球上では時代遅れになっていることにもうそろそろ気付く人が表れてもいい頃だと思うがね。実際に使われたのは70何年か前の広島・長崎だろう。その当時はあまりにひどいということで国際紛争の解決には今後使えなくしようという声もあったと聞いている。

北朝鮮はその後も研究・開発を続けたようだが、今後は人間がよりよく生きるための研究・開発にそのエネルギーを使ってもらいたい、と思う。また国民の多くもそれを望んでいる、と思う。

危険に身をさらしながら開発することもなくなり、1千万人いっぺんにくろせる能力のある核兵器を創造するより、1千万人の生きた人々の日常生活を少しでも良くする、そして感謝される方がいいということになる・・・。生きていたいという欲求はそれだけ強いはずである。これはどこの民族でも同じではないか。殺されるのを望む人はいない。

Q：そうなればよいが・・・？

A：現在は核兵器の地球上での使用が問題になっているが、核は軍事力でも平和利用でも、人類にとって制御しきれないものと思う。

Q：そういえば、元首相の小泉さんが原発反対のほんをだしたね？

A：本はまだ読んでいないが、北欧で核のゴミ処理施設を見て感じたことを話している。彼は首相時代に原子力発電を推進するほうだったからね。核兵器はもちろん平和利用でも、現在の人類には制御できないと感じたらしいね。それが現在では最もまともな説と思うよ。核そのものが人類とは無縁だよ。それが分かっている政治家は増えているよ。

Q:そうかな...？

A：ということは、有権者の方がわかってきているってことだろうね。民主主義国アメリカでは次の選挙は分からないという人が多い、という。国家は地球上にあるから当然今住んでいる人のことしか考えない、これから生まれてくる人のことは考えないでもいい、となりがちだ。。これからの宇宙時代に生きる人は、宇宙のどこから攻められるかわからない、という不安定さを選ぶかどうか考えてみてくれと言われたらどうする？

今地球上で行われていることが宇宙時代にふさわしいことだと自信を持っていえるのかどうか、これは難しい問題だ。少なくとも、国家意識だけは避けたい。

Q:国家意識って何...？

A：「米国第一主義」とか「ロシア第一主義」「中国第一主義」といった「我が国を第一に考える主義」とかいうと、地球上の国を第一に考える事になり、これでは話合いがまとまる可能性がなくなる。結局地球上の問題になってしまう。宇宙時代には宇宙時代の発想をしなければならないと思うがどうだろうか。

Q：宇宙時代の発想は難しいね...？

A：我々地球人は長年の発想があるからねー。地球に長く住んでいた記憶に惑わされるからね。例えば、地球上では幸せになれない人たちがいる、地球上では幸せになるのを諦めた人たちがいれば別だがね。

地球では戦争ばかりやっている、だから幸せにはなれないんだ、と考えている人もいるのではないか？

Q：政治家にはいるかもしれない。地球第一と考える政治家を育てなければ

ならないとなると時間がかかるね。

A：人類の長い歴史の中で、初めて迎える宇宙時代だからね。宇宙から攻撃されない話し合いでも大変だということにね。宇宙からワンポイントで首都を攻撃する、これなら小国が大国に勝てるという国とそうはいかないという国とが話し合いをする、これは長時間かかるよ。核問題は結局地球上の問題と言ってもいいだろう。核兵器は維持するのに予算ばかりかかってということがわかってきたのに、実戦では使えないのだからどうしようもないという政治家が各国にふえてきた、という事情もある。こういう事情を分かる政治家が増えてきた。さて、日本の政治家はどうする？日本の国民はどうする？

Q：国民投票が今あったらどうなる？

A：難しいが分断だろう。どちらが勝つかは分からないが分断だろうね。分断を機にじっくり考える人もいれば、「どちらでもない」に投票して考えない人もいるだろう。投票自体を棄権する人もいるだろう。イギリスのEU離脱国民投票をみても、ひとり一人の国民が国民投票に慣れていなければ「合意なき離脱」と言われてしまう。現時点での国民投票は分断覚悟といえる。

Q：分断覚悟の国民投票が沖縄の基地に関して行われるが、結果はどうか？

A：わからない。基地に「賛成」「反対」のほかに「どちらでもない」の三択になったことで、どういう影響があるのかわからないのか分からない、という人もいる。私は戦争反対・基地反対、すべて話合いという立場だから...

高齢化の進展と時代の変化のスピードとが難しい状況になっている。英国のEU離脱の国民投票をみても、植民地時代を懐かしむだけではだめ、ということのはっきりしている。低学歴の白人たちがトランプ氏をアメリカ大統領にしたという説もあったが、この説も植民地時代をなつかしむ気持ちの表れともいわれた。植民地の諸国を絞るだけ絞っていた欧米諸国のつみともいわれた。欧米諸国の高齢者にはいい時代だったかもしれないが、そのかげには植民地にされた国民の苦労があった、と聞く。「昔はよかった」という声を聴くたびに、植民地時代に戻りたいのか、という意地悪な質問をしたくなる。アジア・アフリカのほとんどは植民地にされていた過去がある。（日本も台湾や朝鮮を植民地にしていた）

Q：欧米諸国はまず植民地にしていたことを謝罪するところから始めなければならないという意見もある。

A：その通りだ。植民地時代にいい思いをした人たちは、その陰にその間ひどい仕打ちを受けた人がいたということを忘れてはいけない。ただ懐かしむだけでは・・・。

Q：それに難しいのは宗教が絡んでいる事？

A：時々イスラム原理主義が台頭することね。イスラム国はなくなったというが、宗教・民族・歴史が絡んで複雑だね。

Q:宗教は人の魂を救うためにあると聞いたが、宗教の名で殺された人が何万人いたか？

A：宗教戦争で殺された人は何万人ではきかないだろう。いろいろな要素が入っているから、このQ&Aと言っても注意深く見る必要がある。

Q：アメリカ大統領がメキシコとの国境に巨大な壁を創ると言って当選したが、それが今問題になっているようだ。

A：国境に巨大な壁を作って移民の流入を防ぐというアイデアは一昔前なら面白がられたかもしれないが・・・。大真面目と聞いてびっくり。一方でどんな国境でも突破するという放射能を扱いながら、人の流入も考えなければならないアメリカ大統領というのは大変なことだと思った。もともとアメリカは固有の国などなくて移民・難民で成り立った国だから、人の土地も自分の土地も見境が付かないのかもしれない。メキシコ国境の壁は作ってもあまり効果はないかもしれない。大統領の何代目かのご先祖様も移民・難民だったかもしれない、というのだから。

Q：大統領は大統領令を発してでもやると言ってるそうだが・・・？

A：反対党（民主党）向け発言ともいわれている。宇宙時代にふさわしいかどうかだが。

Q：そろそろ宇宙時代にふさわしいかどうかの国民の判断も出るころとも言われて

いる・・・？

A：「米国第一主義」が今でも世界で通用していると思っていると、どうかね。中国やどこかの国も経済建設には頑張っているからね。

若い人や子供たちは宇宙時代に育っているから、宇宙時代にふさわしい人を見つけやすいかもしれない。人間が生きるのに精一杯という時に、宇宙に目を向けるだけでも大変だと思うよ。

第二章 会談決裂！核兵器発射か

Q：会談が決裂したね。これで核爆弾発射とならなければいいが・・・？

A：二度目の米朝会談は決裂したようだが、朝鮮半島の非核化への話し合いは続けるようだ。これは北朝鮮もアメリカも同意しているようだ。非核化への進み具合が不十分だと、アメリカ側と国際世論が判断したようだ。

朝鮮半島の非核化については、最終ゴールとして、両者合意しているが、それまでの工程表は明らかになっていない。今回の会談でそれが議題になるとおもっていたが・・・？

前回の会談以後、寧辺付近の主要な核施設は破壊されたが、ほかにも核施設はあるという説もあるし、国際世論も色々だから交渉の当事者は解決まで気を遣うだろう。非核化の工程表は大変だろう。

Q：話し合っているあいだは、核爆弾の発射はないと思うけど、次回会談はいつ頃になる？

A：それは選挙次第だろう。いつ頃が有利と判断するかね。大統領と側近がどう判断するかにかかっていると思うよ。

会談決裂で一時緊張したが、会談が先に続くとなればしばらくは平穏でしょう。話し合いを続けることが重要です。地球上の国家同士が争うのは、地球そのものが危うい時にどうだろうか。

Q：地球そのものが危ういというのは...？

A：核戦争が起きたら、人類全滅どころか地球上には生物がいなくなる恐れがあるという説もある。核戦争が起きなくても、大気汚染や温暖化により地球上には生物は住めなくなる、という説もある。一方では、技術の進歩は目覚ましくとどまる事は無い、もはや技術の進歩を止めることはできないという説もある。環境問題を中心に「もはや地球は持たない」と悲観論をぶつ先生もいる。

Q：「米国第一主義」を唱える人を大統領にする国もあり、その国と覇権を争う国もある。どうするのかな？

A：話し合うしか方法はないと思うがね。21世紀は平和の世紀だよ。戦争はできないよ。宇宙時代の感覚を持ったひとを政治家にするしかないと思うよ。

EU離脱に関する英国の国民投票は、「合意なき離脱」といわれるほど国民の総意を表していないという説があり、再投票になるかもしれない。国民投票は民主主義の根幹だろう...？

英国の国民投票は、英国民さえびっくりしている様子が伝わってくる感じだね。英国民さえ離脱の結果が出るなんて考えていなかったと感じた。総意はEUに参加した時の気持ちと変わらない、これからは移民・難民のせいで多少就職難になるかもしれないが、我慢しよう、というのがほとんどの気持ちではないのか？自分で投票に行くのが民主主義の基本だと思う。人を当てにして自分の気持ちに逆らうのが良いとは言えない。

Q：そうすると日本でも憲法改正の国民投票があったら心配だね。自分は投票に行かないで大勢に従う人が多くなれば「合意なき憲法改正」になるかもしれない...？

A：それが心配だね。投票率を上げて国民投票とするか、結果が納得できるかどうか...？やはり自分の意思を固めて自分の足で投票所に行くという民主主義の鉄則に従うことが大事だね。日本国民が世界から試されるからね。いそがしいとって、棄権は許されないからね。若い人たちは戦争に自ら行く覚悟をしないとね。（日本は志願兵制度だから志願さえしなければいいという考え方もあるが、志願する人が少なければ全員対象の「徴兵」制度に切り替わることは歴史が証明している）

Q：日本の軍備には神経をとがらせている国もあるからね。かつてアメリカをはじめ世界と戦った過去もあるからね。

A：再軍備には、自分が兵隊に行くということと人を殺すという面がある。どちらもうれしいことではないが、実際には両面考えなければならない。自分が戦争に行くことは、その人の人生にかかわることだから慎重にかんがえなければならないが、ただ国をただ地域を守る以外にも被害者や被害地域の事も考えなければならない。（私は家を焼かれ今でも恨みに思っている）

まして人類全滅の恐れありという説もある中では慎重の上にも慎重に考えなければならない、と思う。

第三章 宇宙時代のルール作り

Q：宇宙時代にふさわしい国際ルール創りのための話し合いをすぐにも始めることが必要だね？

A：宇宙時代にふさわしい国際ルールを創るための話し合いをすぐにも始めなければね。少なくとも、突然宇宙からの攻撃を受けないためにもひつようだね、中国が月の裏側に到達したという報道に接する前が良かったと思うがね。

北朝鮮は小型化により核爆弾を落とすことが可能といい、国際社会は疑問視している。これがアメリカとの話し合いの中心になっているが、天気予報やカーナビという民生に使われる前に話し合いをしておくほうがよかった、と思う。

できれば地球上の争いを宇宙まで広げたくなかった、という思いはある。軍事と民生を分けたほうが話し合いがまとまりやすいということはある、と思う。いつぺんに1千万人殺せる威力と100年先まで影響があるというものを実験しよう、という気になるかね。即戦争になると思う。

Q：もう核兵器の実験はないということか？

A：普通感覚ならね。自分だけ生き残るのは難しいからね。100年先まで人体に影響があるというだけで、どういう影響かわからずとも実験したいとも思わないだろう。実験即戦争開始となることをやろうとはしないだろう。もう核兵器の実験は無いと思う。核兵器地身じだいいおくれと行ってよいだろう。核兵器の実力や影響がわからないのだから。大勢殺せるが何人かわからない、100年先までの影響が予測されるが実際にはどうい影響かわからない、そういう実験をやればどうなるかわからない。実験だけではすまず即戦争になる可能性もある。核兵器の実験はもうできない、とっていいのではないか。

Q：核兵器の実験はできなくてもいいが、これからどうなるだろうか？

A：宇宙時代にふさわしい議題での話し合いが続くと思うよ。まず宇宙からの攻撃を受けない話し合いを始めることだが、これが時間がかかる、と思うよ。

さてこれからどうするか。私もめでたく87歳の誕生日を迎えた。これからも、世界の状況は激しく変わっていくだろう。私もその都度何等かの感想を持つだろう。それを書いてゆきたい、と思う。これまでは若い人の役に立ちたい、という思いが強かったが、これからも多分そうだろう。

若者と子供は先が長い。人類に生まれて良かったと希望を持ち、令和の時代、それぞれの人生を楽しんで生きてもらいたい、と切に思う。

若者国際連合-15

<http://p.booklog.jp/book/125895>

著者 : mori3580

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/mori3580/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/125895>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト